



ひがし野

教育目標
 真理(まこと)を求める生徒
 情操(こころ)を深める生徒
 身体(からだ)を鍛える生徒

高め合い 磨き合い 感動し合い
 「愛」いっぱいの真岡東中

令和4年



1月号

新しい年を迎えて ～それぞれの決意～

2022年、新たな年を迎え、本校を支えて下さっている方々に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今年度は、平年よりも長い冬休みとなりましたが、1月11日の始業式には、元気な生徒たちの顔を見ることができました。3週間弱の冬休みでしたが、すっかり大人びたような気がしました。生徒たちは、新しい年を迎え、それぞれが新たな決意を抱いたことと思います。

3年生は、いよいよ進路決定の時を迎えます。私立高校の受験は、ほとんど終了しましたが、このあと県立高校等の受験となります。自分自身で決めた「夢」への第一歩です。精一杯努力して、目標を達成することを祈っています。

2年生は、立志を迎えます。立志式では、各自が自分の将来の夢を体育館のステージで発表します。そして、いよいよ最高学年になります。東中の歴史と伝統を引き継ぐとともに、新たに発展させる責任と自覚をもったことと思います。

1年生は、いよいよ先輩になります。学校生活でも部活動でも、4月に入学する1年生の手本となります。先輩と呼ばれるに相応しい2年生になれるかを確認して欲しいと思います。

生徒たちの幸せと成長を見守り育てる教職員は、その責任を再確認し、生徒たちの学力向上・体力向上・心の成長などに向け、全力で教育活動に取り組みたいと思います。

斜めの関係

昨年の12月23日に、全校緑化として、校庭や学校周辺の落ち葉集めなどの環境整備を行いました。校庭の落ち葉はもちろんのこと、学校北側の歩道や学校西側の歩道は、落ち葉に混じって枝などもあり、生徒たちが通学路として通る際の安全が危惧される状態でした。

参加されたボランティアのみなさんは、生徒たちと一緒に汗を流しながら作業をしつつ、箒の使い方や効率の良い作業の方法などを生徒たちに指導して下さいました。

また、正門付近のバラの剪定も行って下さり、来年花を咲かせる準備が整いました。

本校は、令和4年度から「コミュニティ・スクール」を設立し、保護者や地域の方々とともに子どもたちを育む取組を、本格的にスタートさせます。現代社会は、親と子ども、教師と生徒のような「縦」の関係と、友だち同士のような「横」の関係で成り立っていると言われます。その昔は、縦でも横でもない、「斜め」の関係がありました。本校の取組は、昔ながらの「斜めの関係」も再構築できるものと期待しています。



生徒たちと一緒に作業をして下さった保護者の方々

全国中学生創造ものづくり教育フェア 創造アイデアロボットコンテスト

1月22日(土)に、全国中学生創造ものづくり教育フェア創造アイデアロボットコンテスト全国大会が、オンライン形式で実施されました。栃木県は、芳賀中学校を会場にして、全国各地の会場とつなぎ、それぞれの競技をしました。

本校からは、応用・発展部門に、3年生がメンバーである「ひがし野しゅうと～s」が出場しました。試合前に、突然機械が動かなくなるトラブルもありましたが、卓越した知識と技術で、しっかりと修理・整備して試合に臨みましたが、準々決勝で、なんと同点・同タイム。PK戦となり、惜しくもベスト16で敗れてしまいましたが、審査員特別賞を受賞しました。

また、基礎部門に出場した、1年生がメンバーである「ひがし野アトランティス」は、関東大会優勝の実力を発揮し、準々決勝まで順調に勝ち進みました。30秒を切れば全国トップクラスである中、相手のチームが18秒という脅威のタイムをたたき出し、惜しくもベスト8で敗れてしまいましたが、審査員特別賞を受賞しました。

このロボットコンテストは、AI社会を支える想像力豊かな人材育成を目指して行われています。そういった意味からも、県大会を含め、今年度から立ち上げた「ロボット研究会」の生徒たちに心からの拍手を送るとともに、将来の活躍を期待したいと思います。



【ひがし野しゅうと～s】
 本田柊斗さん、北出圭汰さん
 石巻直斗さん、松本楓翔さん



【ひがし野アトランティス】
 西川 諒さん、都地陽成さん